



秋の収穫に感謝「豊祭(ほぜ)」

■10月28日に南方神社、29日に妙見神社で行われ、山下・水流太鼓踊り、東鹿籠太鼓踊り、山口棒踊りが奉納されました。(写真は山口棒踊り・妙見神社)



おいしいお茶の入れ方教室

■11月1日、別府小学校で同校5年生を対象に開催されました。児童は、市茶業青年の会のメンバーを講師に、おいしいお茶の入れ方を学びました。



笑顔がいっぱいラッピング列車

■枕崎青年会議所創立40周年記念事業の一環として、10月25日から11月15日の期間、市内保育園等や小・中学校の子どもたちの笑顔の写真を載せたラッピング列車がJR指宿枕崎線を走りました。



市町村による青少年劇場

■11月7日、立神小学校で行われました。同校の全校児童や保護者らが、劇団野ばらによる「あした あさって しあさって」を鑑賞しました。



松野下聖さんが旭日双光章を受章

～平成29年秋の叙勲

平成29年秋の叙勲が発表され、松野下聖さん(恵比須町・70)が旭日双光章を受章しました。

松野下さんは、昭和62年5月に枕崎市議会議員に初当選して以来、平成19年4月まで5期20年の長きにわたり市議会議員として活動を続けました。平成15年5月からの2年間は枕崎市議会議長の要職に就き、市当局と一体となって市勢発展と住民福祉向上のため尽力されました。

松野下さんは「今回の受章は家族や同級生、地域・市民の皆さんのご協力があつての受章だと思います。皆さんには本当に感謝しています」と話していました。



山崎敏廣さんが1日消防長

～秋の火災予防運動

本市出身で大相撲第36代木村庄之助こと山崎敏廣さんが11月9日、市消防本部の1日消防長を務めました。山崎さんは委嘱式の後、職員に対する通常点検と講演を行いました。

また、同日には消防フェスタが消防署で開催され、市内幼年消防クラブと婦人防火クラブが参加しました。子どもたちは、ミニ消防隊出動ゲームやかけっこカード合わせなどを楽しみながら火災予防への理解を深めました。最後には、山崎さんから各クラブへ直筆の色紙がプレゼントされました。



カツオ博士目指し64人が挑戦

～第7回枕崎カツオマイスター検定

カツオや鰹節についての正しい知識を身につけ、カツオの伝道師となってもらうことを目的にした第7回枕崎カツオマイスター検定が11月4日から2日間にわたり行われ、全国から64人が受検しました。

受検者は、鰹節工場の見学やカツオの三枚おろし、おいしい出汁の取り方などに挑戦したほか、座学ではカツオの生体や漁法などについてなど幅広く学び検定に臨みました。



第64回関東枕崎会総会・望郷の集いを開催

～投稿者：関東枕崎会広報担当 白澤武彦さん

投稿

10月22日、東京アルカディア市ヶ谷において、関東枕崎会総会が開催されました。当日は台風21号接近中の悪天候に加え、衆議院議員総選挙の投票日でしたが、多くの会員と関東地区のふるさと会代表の方にご臨席を賜り盛大に開催されました。改めて望郷の絆の深さを知りました。今回は、市議会の中原副議長、枕崎商工会議所の大茂会頭、近畿枕崎会の豊田会長、東海枕崎会の宮原会長にご臨席を賜りご挨拶をいただきました。第2部は枕崎出身のナツメグの歌声とRYOKO(塗木良子さん)のジャズピアノ演奏に魅了されながらスタートしました。しかし、「原耕が鰹群に翔けた夢」の筆者在鹿兒島県立短期大学教授の福田忠弘先生の講演が、台風の影響で中止となったことが残念でした。第3部は関東枕崎会踊り連の踊りを見ながら、枕崎から取り寄せた、ぶえん鰹の刺身とさつま揚げの故郷の味に舌鼓を打ちながら、枕崎弁の飛び交う笑顔の絶えない懇親会となりました。また来年の10月21日この場所で元気に会いしましょうと約束して閉会となりました。



ほっとホット
フォトニュース



さまざまな文化に親しむ

～第51回市総合文化祭

第51回市総合文化祭が、10月28日から11月5日まで開催されました。展示部門では生花や書道、絵画、学習成果などが市民会館と南浜館で展示されました。

また、3日に市民会館で行われた市民芸能祭には30団体が出演し、日本舞踊やフラダンス、楽器の演奏などを披露したほか、本市を拠点に活動するバンド「ARTS」のライブも行われました。



枕崎産桑茶が完成

～桑茶を商品化

市内の茶生産者4戸がつくる「まくらざき桑本舗」が、桑茶の販売を12月1日から始めました。生産者らは約3年前から先進地などを視察し、美山町の遊休農地などで桑の栽培を行ってきました。11月6日に行われた商品化の発表会では、桑茶を練り込んだつけあげや豆腐の試食も行われました。

代表の真茅文男さんは「念願かなって商品にできたことをうれしく思います。これから少しずつ、販路を広げていきたいです」と話していました。

桑茶は、2^{リットル}スティックと100^{グラム}入りで販売されており、お魚センターや地場センター、かつお公社等で購入することができます。